

グランピング・ローカルデザインプロジェクト

～地域資源の活用による交流人口の拡大～

1 概要

- ① 持続可能な観光まちづくりの観点から、地域資源として廃校に注目し、日本全国の廃校施設に実態及び有効活用状況について事例を整理する。
- ② 大学コンソーシアム石川の平成27年度地域研究課題研究ゼミナール支援事業採択課題「廃校施設の有効活用」で得た成果（地域資源の再評価）をもとに、民間企業との協働により、ファンドレイジングを通じた交流人口拡大のためのグランピングイベントを志賀町西海地区で開催する。これをもとに、学生提案の実現に向けた due process の整理を実証的に検証し、今後の課題を明らかにする。
- ③ 東洋大学国際地域学部（東京都）と北海学園大学経済学部（北海道）の学生との連携を通して、地域間交流を通して廃校施設の利用について提案する。また、この提案については、それぞれ金沢、東京、札幌等の都市部で情報発信と現地調査を行う。
- ④ 地域特性を生かした廃校施設の用途を決定する。

2 実現を目指す地域課題解決の成果

- ① 廃校施設の有効利用を通じた持続的な地域づくりとソーシャルビジネスの展開
- ② オルタナティブな廃校施設の有効利用計画の創出と計画実現
- ③ 創造性が豊かな人材育成、及び地域と外部者との交流の拠点
- ④ 新たな住まい方の価値創出

3 目標

都市・農村間における交流人口の拡大やオルタナティブな豊かさを体験することが最終的な目標である。

4 次年度以降の事業計画

- ① 体験型観光（コミュニティツーリズム）を展開する
- ② 計画実現に向けた諸課題を解決する（組織マネジメント・資金調達）
- ③ 外部者との関係構築・P R（情報発信）を行う
- ④ 廃校施設の利用に対する評価と今後の課題を明確にする

5 情報発信の方法

- ① かわら版を作成し、想定される施設利用者に対して情報発信する
- ② 可視的な資料を作成し、外部に対して情報発信を強化する
- ③ 事業内容によって旅行代理店やその他民間企業者と連携・協力し、情報発信する

6 活動頻度と年間活動計画

40 回程度/年	
時期	内容
2016 年 6 月～ 2017 年 2 月	・自主ゼミ開催(毎週 1 回、計 28 回) 全国における廃校施設活用事例の整理及び、グランピングイベントの立案等
2016 年 6 月 26 日～27 日	・プレイベントの実施(東洋大学、志賀町女性団体との合同)
10 月 1 日～2 日	・イベント本番(TOGIX2016～廃校RE 活用グランピング)の実施 廃校施設でのファンドレイジングイベントの開催と評価
10 月～12 月	・イベント本番で得られた知見の分析・考察
2017 年 1 月	・かわら版通信・成果報告書の作成、印刷、刊行(石川県内や首都圏での情報発信)
2017 年 2 月	・北信越学生インナー大会及び、成果報告会での発表